



平井知事に商標登録証をお披露目するスミス理事

発行：NPO法人グリーンスポーツ鳥取広報部

第 1 号

発行日：2010年(平成22年)9月10日

上記事：平井知事を表敬訪問

下記事：竹内市長を表敬訪問

芝生化に関する指導助言「鳥取方式」が商標登録に

「これは画期的です。イベント等で「鳥取方式」ということば使って良いですか？」(平井知事)



9月10日、鳥取県庁の知事室においてNPO法人グリーンスポーツ鳥取が進めている「鳥取方式」の商標登録が8月13日に認証されたことにもない、当会理事長のニール・スミスが表敬訪問を行った。知事の過密なスケジュールの合間とあって短時間に訪問は行われたが、スミス理事長による今までの経緯とその意義が詳しく端的に説明された。中でも芝生の社会インフラとしての必要性和鳥取方式=安いという誤認識や底辺を築く維持管理業者を育成することでさらに経済効果が上がると力説。

者

「画期的です」(平井知事)

熱心に聞いていた平井知事からも、「2003年のあの頃はまだ夢物語だったのに、本当に現実となったのですね」と当会への労苦を賞讃した上で、こ



平井知事にイギリスのマンチェスター市街地の芝生の多さを写真説明するスミス理事長

れからも良い意味での業界発展のために芝生の研究開発を続け、さらには地場産業の発展のために指導いただきたいと述べた。最後に「関連のイベントなどで鳥取方式という言葉を使って良いですか」とスミス理事長に投げかけると、理事長もこれからのこともありますので、対応の仕方は理事会で話し合いたいと結んだ。

竹内市長へも同日表敬訪問

「一人歩きした鳥取方式を改めていきたい」(スミス)

同日、鳥取市役所へも表敬訪問を行った。竹内市長と鳥取市都市環境課の宮本課長、米原主任が同席し、今までの経緯と市長のマニフェストにも掲げられている「芝生化」がより現実的になるよう「鳥取方式」の正しい認識と低コストの維持管理体制の必要性を説明した。竹内市長からは協働のまちづくり



市役所で今後の展望を話合った



竹内市長に商標登録証を披露するスミス理事長に相応しい取り組みの中でこの芝生化を進めていきたいと述べると、スミス理事長は「それより、まず社会インフラとしての芝生の必要性を市長には認識してもらいたい」とくった。

(取材：広報部 谷尾)